

2018年1月25日 全13頁

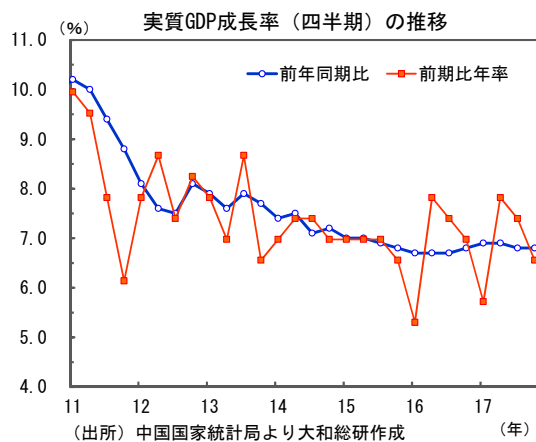
# グラフで見る 2017年12月の中国経済動向

経済調査部 研究員 永井 寛之

## GDP

- ◆ 2017年10-12月期の実質GDP成長率は前年同期比6.8%と、7-9月期の同6.8%と変化がなかった。前期比年率は6.6%と、7-9月期の同7.4%から低下した。2017年の成長率は前年比6.9%と、2016年の同6.7%から加速した。成長率の加速は7年ぶりである。
- ◆ 17年の需要項目別寄与度は、最終消費支出が4.1%pt、総資本形成が2.2%pt、純輸出が0.6%ptであった。16年と比較すると、最終消費支出と総資本形成の寄与度は低下した一方、純輸出の寄与度はプラスに転じた。
- ◆ 17年の産業別成長率を16年と比較すると、第一次産業は16年の前年比3.3%から17年は同3.9%、第三次産業は同7.7%から同8.0%と加速した一方、第二次産業は同6.3%から同6.1%に減速した。

## 実質GDP成長率、需要項目別寄与度



## 需要項目別実質GDP成長率寄与度

	成長率(累計)	需要項目別寄与度			
		最終消費支出	総資本形成	純輸出	
	%	%pt	%pt	%pt	
2011年	1-3月	10.2	6.1	3.8	-0.1
	1-6	10.1	5.1	4.6	0.1
	1-9	9.8	5.0	4.4	0.1
	1-12	9.5	5.9	4.4	-0.8
2012年	1-3月	8.1	6.4	2.4	-0.7
	1-6	7.9	4.7	4.0	-0.9
	1-9	7.8	4.2	3.9	-0.4
	1-12	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年	1-3月	7.9	4.3	2.3	1.1
	1-6	7.7	3.4	4.1	0.1
	1-9	7.8	3.5	4.3	-0.1
	1-12	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年	1-3月	7.4	5.5	3.1	-1.2
	1-6	7.4	4.0	3.6	-0.2
	1-9	7.3	3.6	3.0	0.8
	1-12	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年	1-3月	7.0	4.5	1.2	1.3
	1-6	7.0	4.2	2.6	0.3
	1-9	6.9	4.0	3.0	-0.1
	1-12	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年	1-3月	6.7	5.0	2.4	-0.8
	1-6	6.7	4.9	2.5	-0.7
	1-9	6.7	4.1	2.9	-0.3
	1-12	6.7	4.3	2.8	-0.5
2017年	1-3月	6.9	5.3	1.3	0.3
	1-6	6.9	4.4	2.3	0.3
	1-9	6.9	4.4	2.3	0.3
	1-12	6.9	4.1	2.2	0.6

(出所) 中国国家统计局、CEICより大和総研作成

## 産業別成長率

産業別実質GDP成長率（1月から累計の前年同期比、単位：％）

		実質GDP 成長率	第一次 産業	第二次 産業	工業	建設業	第三次 産業	交通 運輸等	卸売・ 小売等	ホテル・ 飲食業	金融業	不動産業	その他 サービス業
2011年	1-3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1-6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1-9	9.8	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1-12	9.5	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1-3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1-6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1-9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1-12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1-3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1-6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1-9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1-12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1-3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1-6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1-9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1-12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1-3月	7.0	3.1	6.4	6.1	8.7	7.8	4.8	6.1	5.7	15.3	0.7	8.9
	1-6	7.0	3.5	6.3	6.1	7.0	8.1	4.1	6.0	5.7	17.0	2.5	8.8
	1-9	6.9	3.8	6.2	6.1	6.5	8.2	4.1	6.0	6.0	16.7	3.1	9.1
	1-12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	9.3
2016年	1-3月	6.7	2.9	5.9	5.7	7.8	7.6	3.3	5.8	7.0	8.1	9.1	8.7
	1-6	6.7	3.1	6.1	5.9	7.5	7.5	4.6	6.2	6.9	6.7	8.9	8.9
	1-9	6.7	3.5	6.1	6.0	6.9	7.6	5.2	6.5	6.8	6.3	8.9	8.9
	1-12	6.7	3.3	6.3	6.0	7.2	7.7	6.6	7.1	7.4	4.5	8.6	7.5
2017年	1-3月	6.9	3.0	6.4	6.5	5.3	7.7	8.7	7.4	7.4	4.4	7.8	6.9
	1-6	6.9	3.5	6.4	6.5	5.3	7.7	9.2	7.3	7.2	3.8	6.9	7.0
	1-9	6.9	3.7	6.3	6.4	4.8	7.8	9.2	7.2	7.2	4.4	5.9	6.9
	1-12	6.9	3.9	6.1	6.4	4.3	8.0	9.0	7.1	7.1	4.5	5.6	7.1

## 【参考】

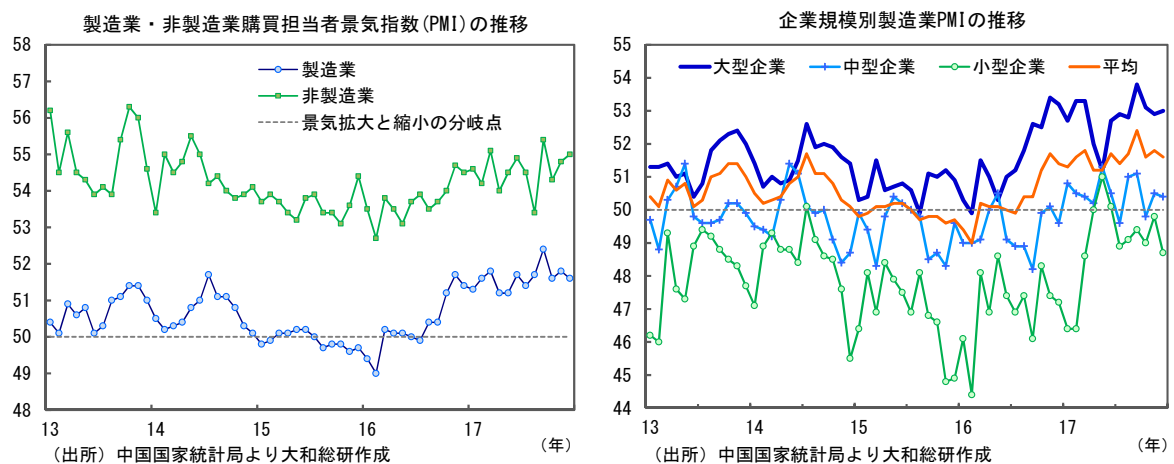
2017年構成比	100.0	7.9	40.5	33.9	6.7	51.6	4.4	9.4	1.8	7.9	6.5	15.1
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

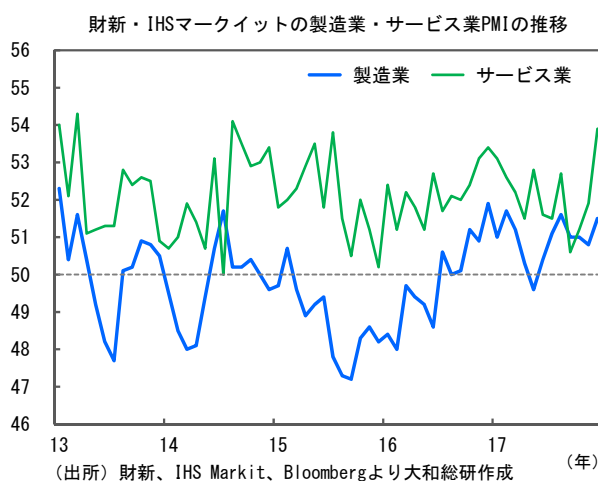
## 景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した2017年12月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は51.6と、11月から0.2pt低下した。景気拡大と縮小の節目である50を17ヶ月連続で上回った。非製造業PMIは55.0と11月より0.2pt上昇した。
- ◆ 上記製造業PMIを企業規模別に見ると、大型企業は53.0(11月は52.9)に僅かに上昇したが、中型企業は50.4(11月は50.5)、小型企業は48.7(11月は49.8)に低下した。小型企業の低下が大きく、50割れは6ヶ月連続である。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社IHSマークイットが発表した12月の製造業PMIは51.5と、11月(50.8)より0.7pt上昇し、国家統計局の調査とは対照的な結果となった。ただし、国家統計局の調査と比べてサンプル数が少なく、統計の振れが大きいことには留意が必要である。サービス業PMIは53.9と、11月より2.0pt上昇した。

### 国家統計局の製造業・非製造業PMI、企業規模別製造業PMI



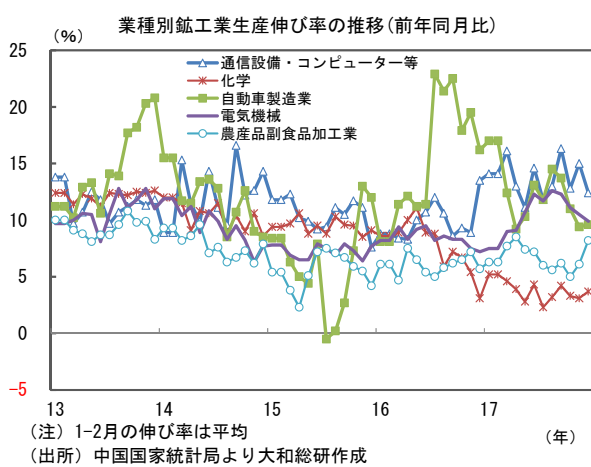
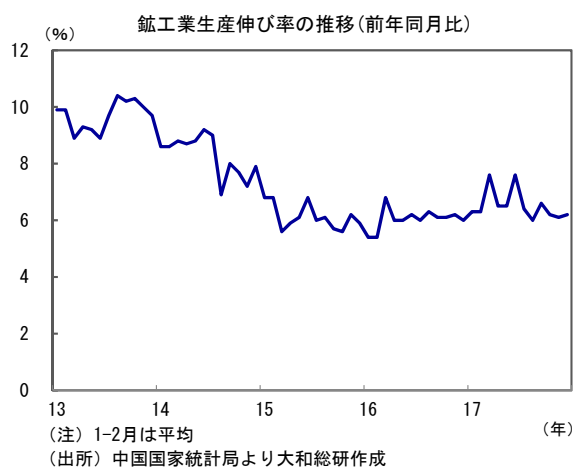
### 財新・IHSマークイットの製造業・サービス業PMI



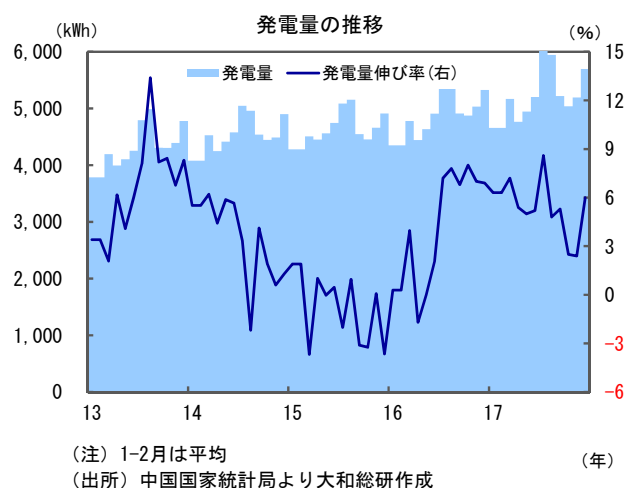
## 鋳工業生産

- ◆ 2017年12月の鋳工業生産は前年同月比6.2%増（11月は同6.1%増）だった。2016年の売上上位5業種の動向を見ると、通信設備・コンピューター等は同12.4%増、電気機械は同9.9%増と伸び率が鈍化した一方、化学は同3.7%増、自動車製造業は同9.6%増、農産品副食品加工業が同8.2%増と伸び率が上昇した。
- ◆ 2017年の鋳工業生産の前年比は6.6%増と、16年の同6.0%増を上回った。
- ◆ 12月の発電量は前年同月比6.0%増と11月の同2.4%増から伸び率が上昇した。17年の前年比は5.7%増と16年の同5.6%増を僅かに上回った。

### 鋳工業生産



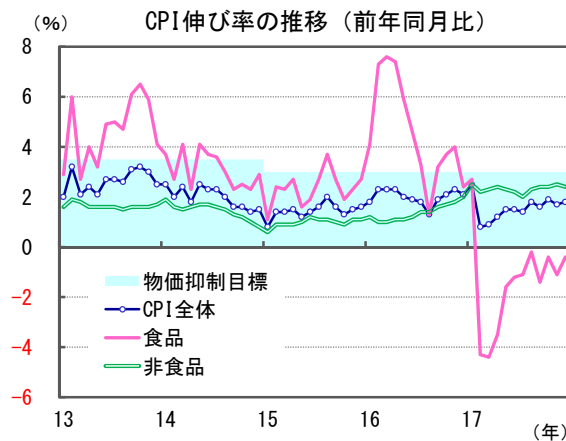
### 発電量



## 物価

- ◆ 2017年12月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比1.8%上昇と、11月の同1.7%上昇から伸び率が上昇した。食品は同0.4%下落と下落幅が縮小した一方、非食品は同2.4%上昇と伸び率が低下した。
- ◆ 2017年のCPIは前年比1.6%上昇（2016年は同2.0%上昇）だった。
- ◆ 12月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比4.9%上昇と、11月の同5.8%上昇から伸び率が鈍化した。うち石炭・石油などの採掘工業品価格は、11月：同10.8%上昇→12月：同9.1%上昇、鉄鋼などの原材料工業品価格は、11月：同9.7%上昇→12月：同8.1%上昇、といずれも伸び率が低下した。
- ◆ 2017年のPPIは前年比6.3%上昇と、2016年の同1.4%下落から上昇に転じた。年間で上昇したのは6年ぶりである。

### 消費者物価



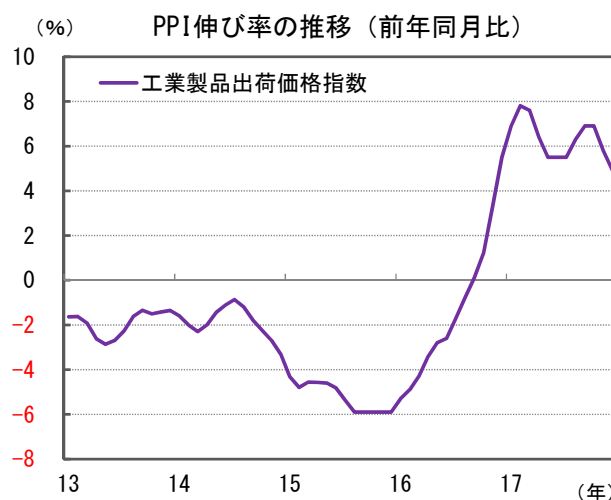
(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2017/01	2.5	2.7	1.1	2.3	0.6	2.3	3.3	5.0	4.8
2017/02	0.8	-4.3	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	0.9	-4.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9
2017/04	1.2	-3.5	1.3	2.4	0.8	1.8	2.6	5.7	3.4
2017/05	1.5	-1.6	1.3	2.5	1.0	1.1	2.6	5.9	2.9
2017/06	1.5	-1.2	1.4	2.5	1.1	0.1	2.5	5.7	2.8
2017/07	1.4	-1.1	1.4	2.5	1.1	-0.2	2.5	5.5	1.3
2017/08	1.8	-0.2	1.3	2.7	1.3	0.7	2.5	5.9	1.4
2017/09	1.6	-1.4	1.3	2.8	1.4	0.5	2.3	7.6	1.4
2017/10	1.9	-0.4	1.2	2.8	1.5	0.8	2.3	7.2	1.8
2017/11	1.7	-1.1	1.2	2.8	1.5	1.3	2.0	7.0	1.7
2017/12	1.8	-0.4	1.3	2.8	1.6	1.2	2.1	6.6	1.9

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

### 生産者物価



(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

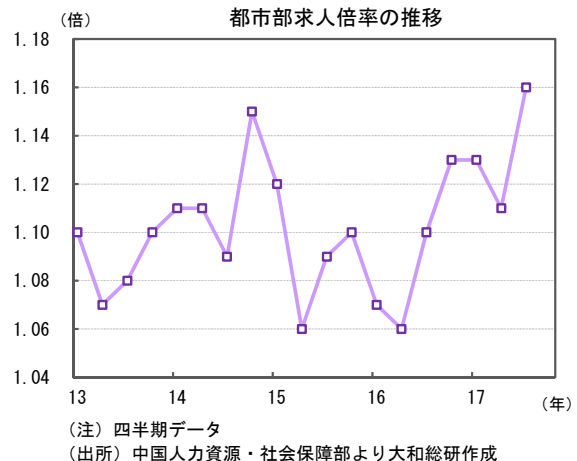
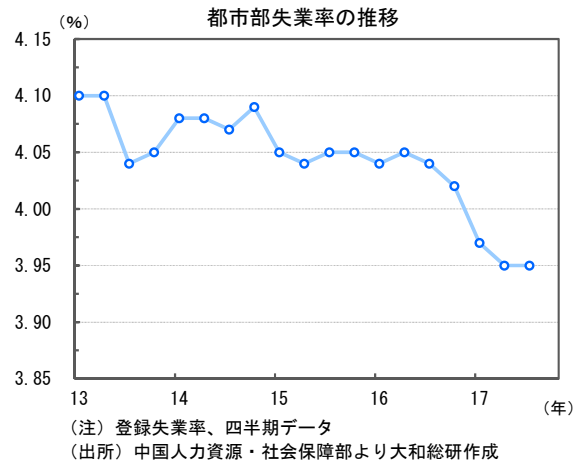
	工業製品出荷価格指数									
	生産財価格					生活財価格				
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品			食品	衣類	日用品	耐久 消費財	
2017/01	6.9	9.1	31.0	12.9	5.9	0.8	1.3	1.1	1.5	-0.6
2017/02	7.8	10.4	36.1	15.5	6.6	0.8	1.1	1.3	1.5	-0.6
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	0.7	1.3	1.4	-0.4
2017/04	6.4	8.4	28.3	13.0	5.2	0.7	0.5	1.5	1.4	-0.1
2017/05	5.5	7.3	22.7	11.1	4.6	0.6	0.3	1.5	1.1	0.2
2017/06	5.5	7.3	18.3	10.0	5.4	0.5	0.1	1.3	1.0	0.1
2017/07	5.5	7.3	15.8	9.3	5.8	0.5	0.4	1.2	0.6	0.0
2017/08	6.3	8.3	18.2	11.0	6.4	0.6	0.7	1.4	0.8	0.0
2017/09	6.9	9.1	17.2	11.9	7.3	0.7	0.7	1.2	1.3	0.0
2017/10	6.9	9.0	14.7	11.6	7.5	0.8	0.6	0.9	1.9	0.0
2017/11	5.8	7.5	10.8	9.7	6.3	0.6	0.4	0.7	1.7	0.0
2017/12	4.9	6.4	9.1	8.1	5.5	0.5	0.2	0.6	1.6	-0.2

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

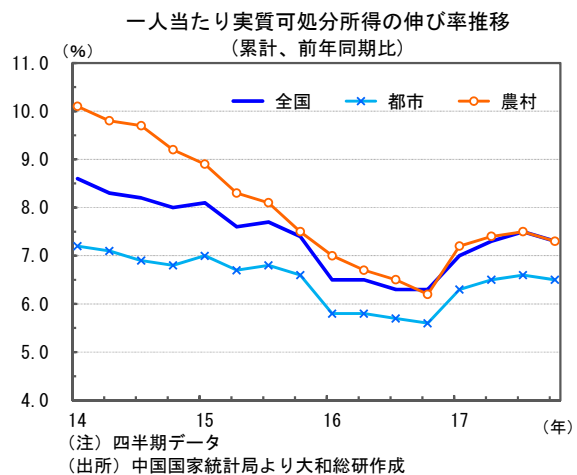
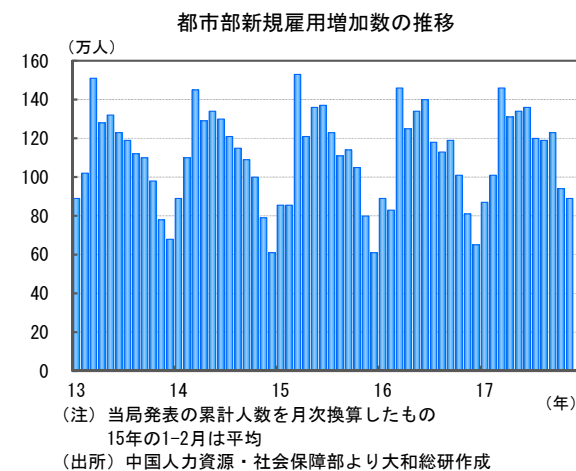
## 雇用と所得

- ◆ 2017年の都市部新規雇用増加数は1,300万人を超えたとされている(全人代で打ち出された2017年年間の目標は1,100万人)。
- ◆ 17年の実質可処分所得は、都市部は前年比6.5%増、農村部は同7.3%増であった。16年のそれぞれ同5.6%増、同6.2%増から上向いた。

### 失業率と求人倍率



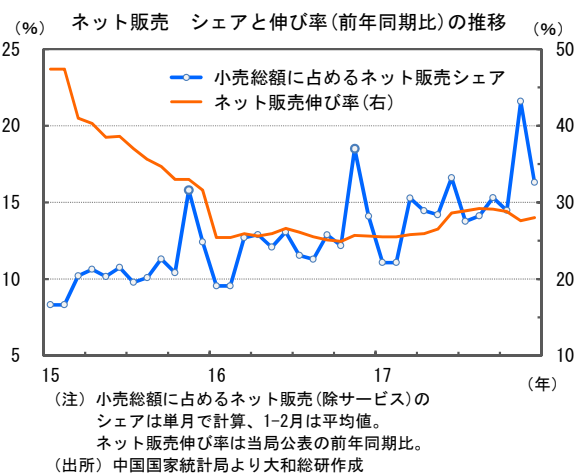
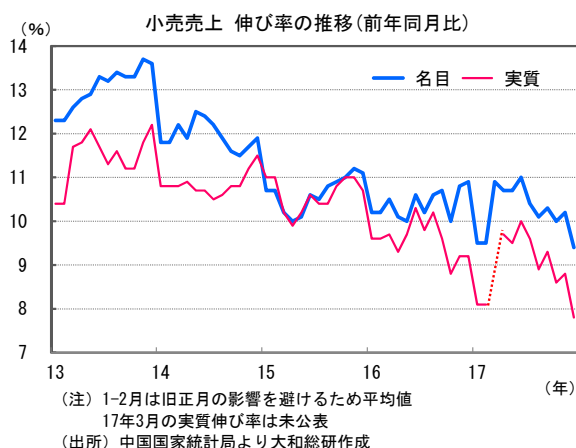
### 都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



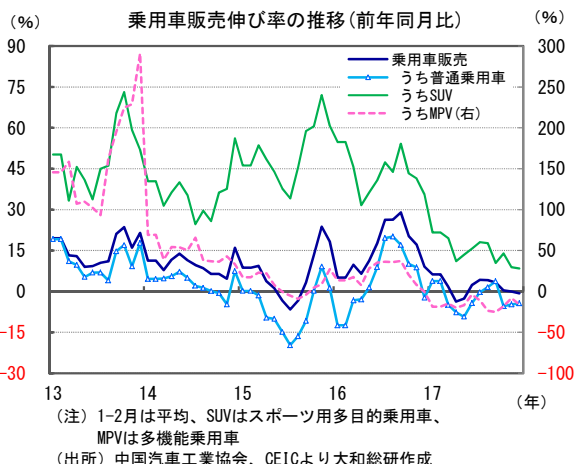
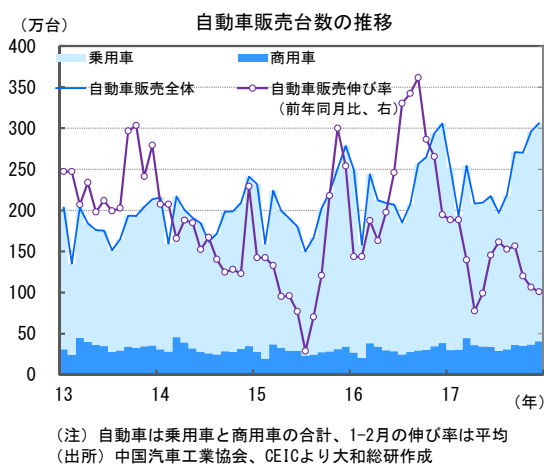
## 小売

- ◆ 2017年12月の小売売上（名目）は前年同月比9.4%増と、11月の同10.2%増から伸び率が低下した。12月の小売売上（実質）も同7.8%増と、11月の同8.8%増から伸び率が低下した。
- ◆ 17年のネット販売（除サービス）は前年比28.0%増と、16年の同25.6%増から伸び率が上昇した。17年の小売総額に占めるネット販売額のシェアは15.0%と16年の12.6%から拡大した。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、12月の自動車販売台数は、前年同月比0.1%増の306.0万台と伸び率が鈍化した。17年の自動車販売台数は、前年比3.0%増の2,887.9万台であった（16年は同13.7%増の2,802.8万台）。12月の乗用車販売台数は前年同月比0.7%減の265.3万台、17年通年では前年比1.4%増の2,471.8万台であった（16年は同14.9%増の2,437.7万台）。車種別（以下、12月単月、前年同月比）では、普通乗用車が4.4%減と減少幅が縮小したものの、MPV（多機能乗用車）が16.0%減と減少幅が拡大し、SUV（スポーツ用多目的車）では8.4%増と伸び率が低下した。

### 小売売上の推移



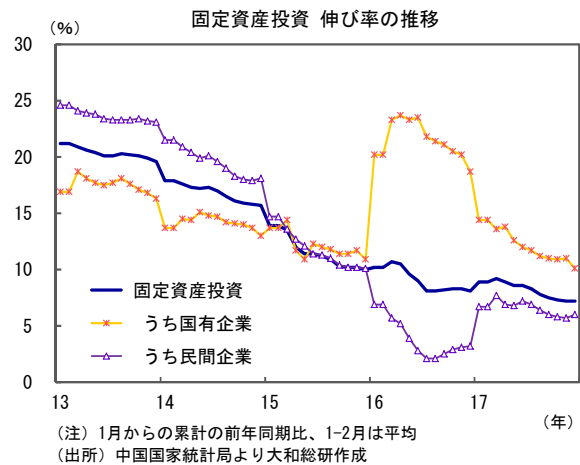
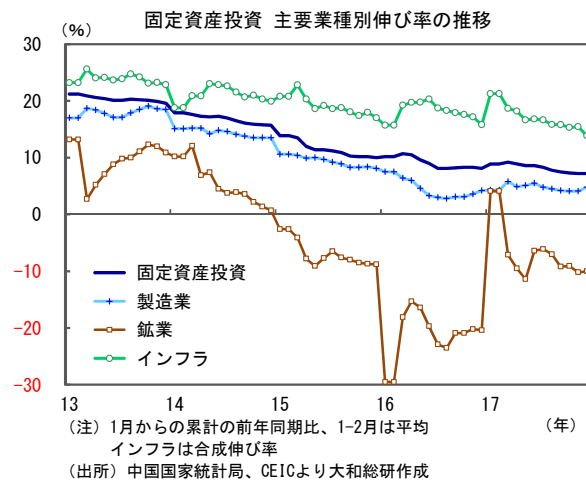
### 自動車販売



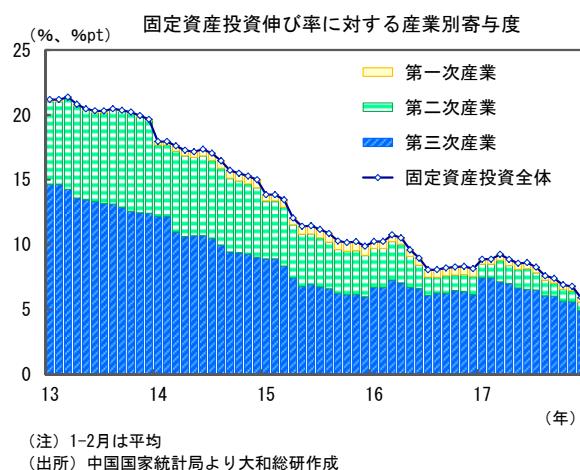
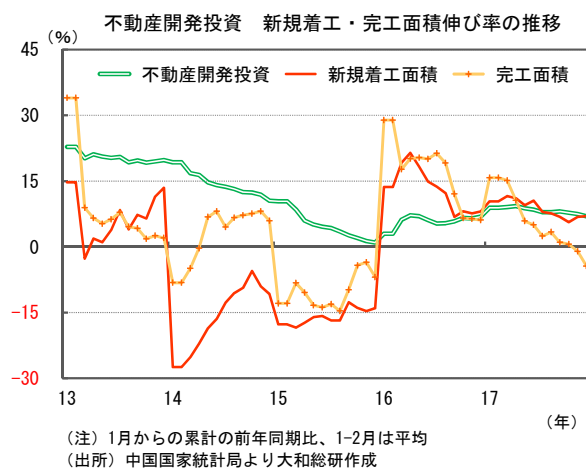
## 投資

- ◆ 2017年の固定資産投資は前年比7.2%増と、16年の同8.1%増から伸び率が鈍化した。全体の4割弱を占める国有部門は、16年の同18.7%増から17年は同10.1%増と伸び率が低下した。一方、全体の6割強を占める民間部門では、16年の同3.2%増から17年は同6.0%増と伸びが上昇した。
- ◆ 17年の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業が前年比10.0%減（16年は同20.4%減）と下落幅が縮小し、製造業は同4.8%増（16年は同4.2%増）と伸び率が上昇した一方、インフラは同13.9%増（16年は同15.8%増）と伸び率が低下した。
- ◆ 17年の不動産開発投資は前年比7.0%増と、16年の同6.9%増から伸び率がやや上昇した。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ同7.0%増（16年は同8.1%増）、同4.4%減（16年は同6.1%増）であった。

### 固定資産投資



### 不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度

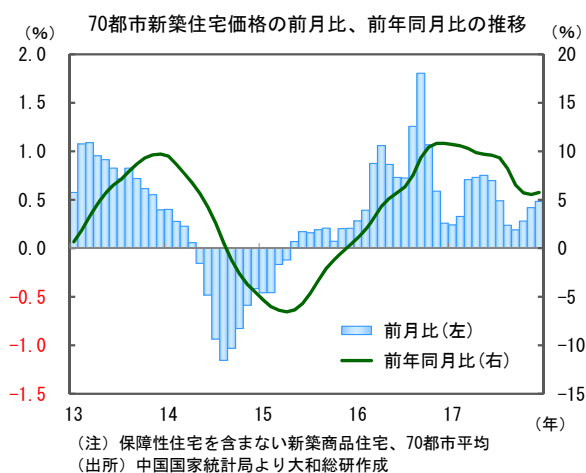
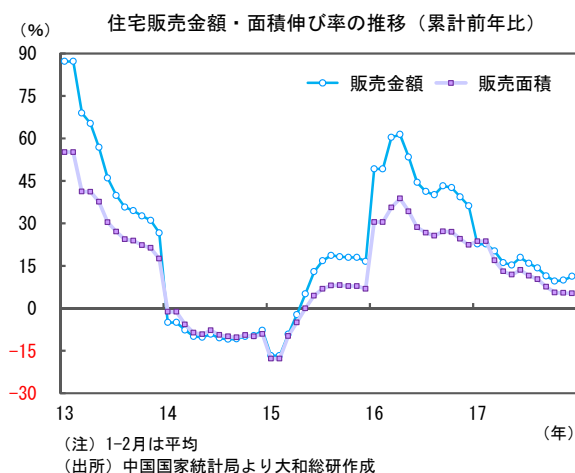




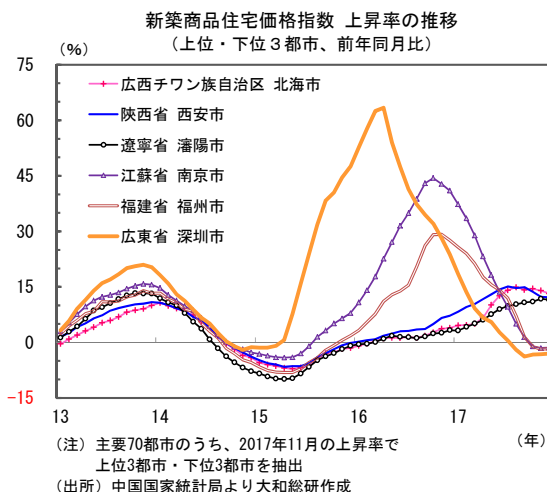
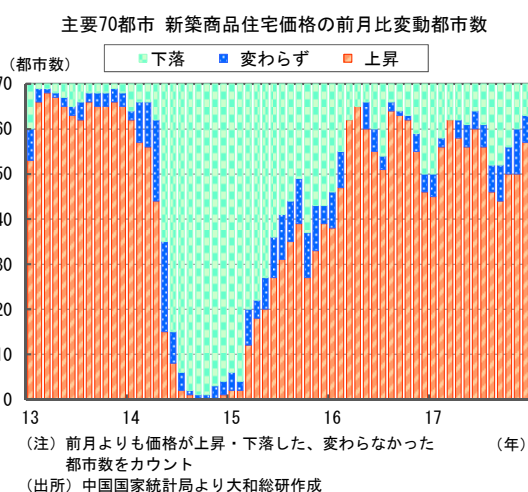
## 住宅

- ◆ 2017年の住宅販売金額は前年比11.3%増と16年の同36.2%増から大幅に減速している。17年の住宅販売面積も同5.3%増と16年の同22.4%増から大きく減速している。
- ◆ 12月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比5.8%上昇、前月比0.5%上昇となった。前月比で上昇したのは57都市（11月は50都市）、下落したのは7都市（11月は10都市）、変化がなかったのは6都市（11月は10都市）となった。
- ◆ 主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、広西チワン族自治区北海市（前年同月比13.2%上昇）、陝西省西安市（同12.2%上昇）、遼寧省瀋陽市（同11.5%上昇）であった。一方、下位3都市は、広東省深圳市（同3.0%下落）、福建省福州市（同1.7%下落）、江蘇省南京市（同1.4%下落）となった。

### 住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



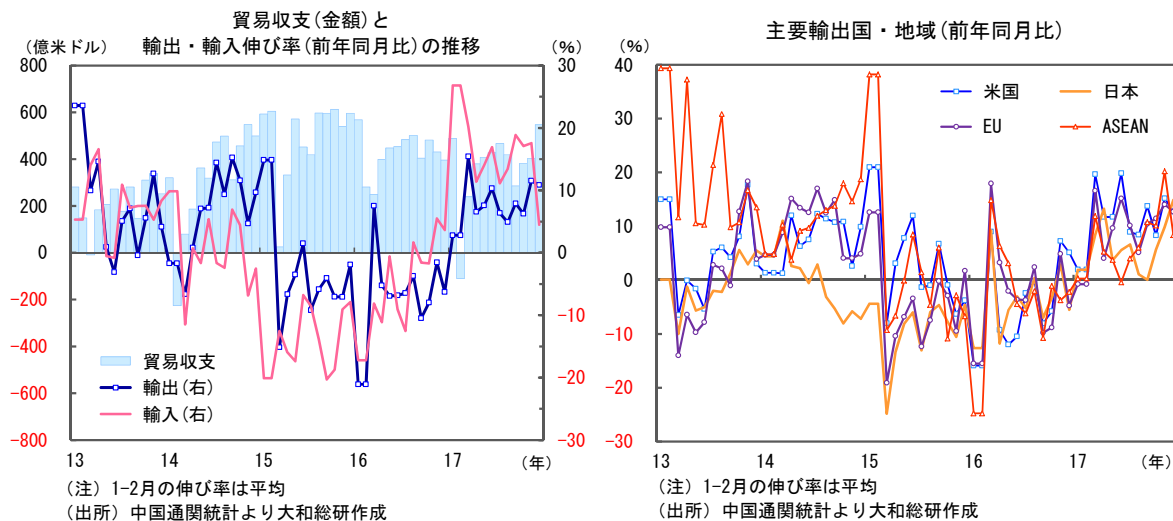
### 新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



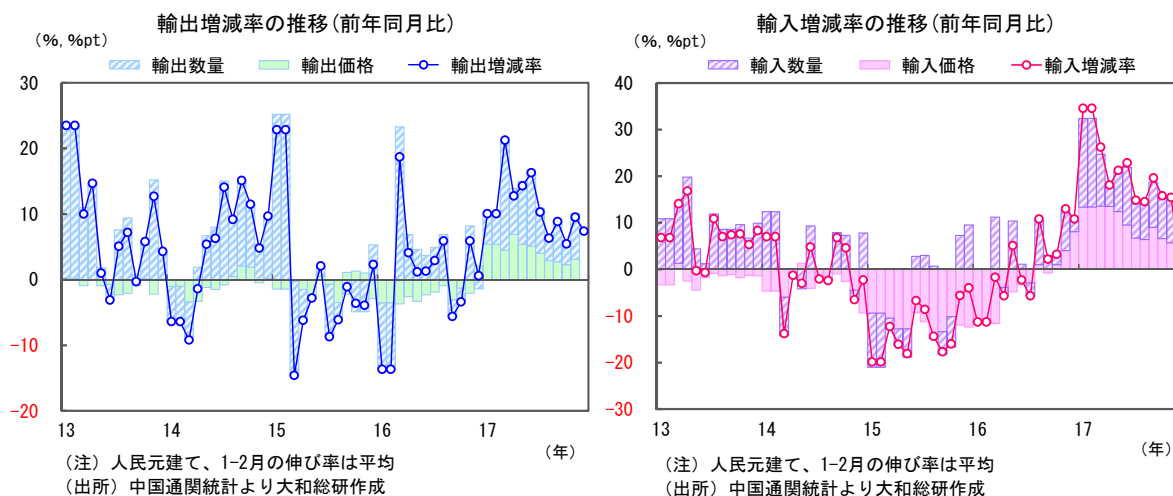
## 貿易

- ◆ 2017年12月のドル建て輸出は前年同月比10.9%増、輸入は同4.5%増であった。輸出を主要貿易相手国・地域別に見ると、日本は、11月：同9.8%増→12月：同14.9%増と伸び率が上昇した一方、米国は、11月：同15.2%増→12月：同12.7%増、EUは、11月：同14.0%増→12月：同12.7%増、ASEANは、11月：同20.2%増→12月：同8.3%増と伸び率が低下した。貿易収支は547億米ドルの黒字（11月は402億米ドルの黒字）であった。
- ◆ 17年のドル建て輸出は前年比7.9%増、輸入は同15.9%増、貿易収支は4,225億米ドルの黒字だった。貿易黒字は前年比で17.1%縮小している。
- ◆ 12月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比7.4%増、輸入は同0.9%増、17年の輸出は前年比10.8%増、輸入は同18.7%増となった。

### 輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



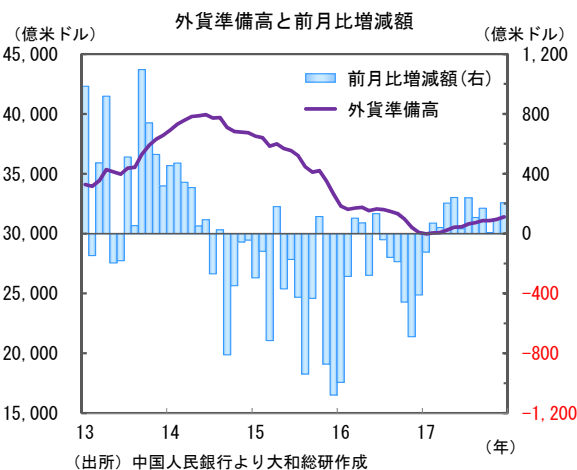
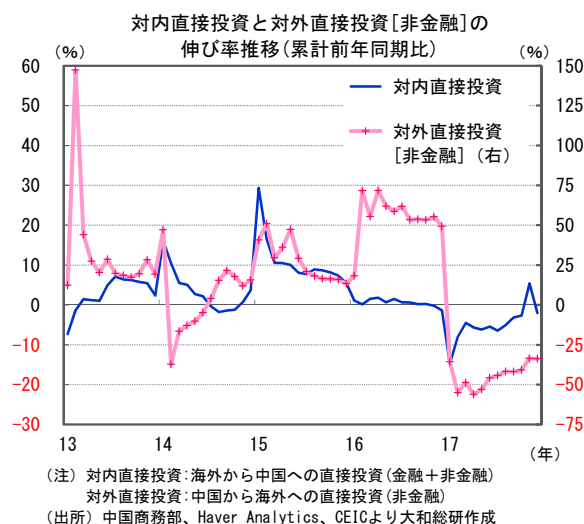
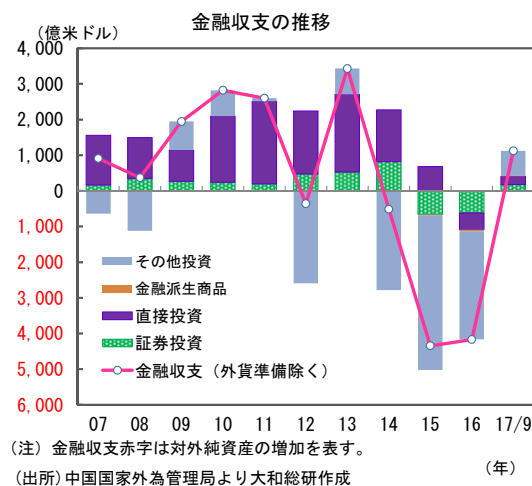
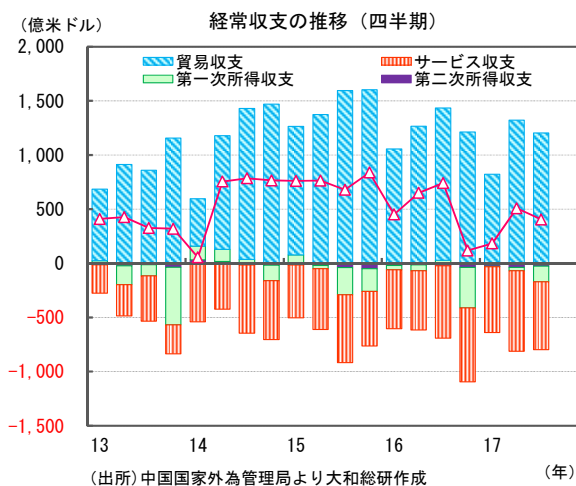
### 輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



## 国際収支

- ◆ 2017年の中国から海外への対外直接投資（非金融）は1,201億米ドル、前年比は33.7%減であった。
- ◆ 17年の対内直接投資（金融+非金融）は1,310億米ドルだった。前年比は2.0%減と、2年連続で前年割れした。
- ◆ 12月末の外貨準備高は3兆1,399億米ドルと、11ヶ月連続で前月比増加した。その背景の一つに上記対外直接投資の減少がある。
- ◆ 7~9月期の経常収支は405億米ドルの黒字だった。サービス収支は629億米ドルの赤字と赤字幅が縮小したが、貿易収支は1,204億米ドルの黒字と黒字幅が縮小したため、経常収支の黒字幅が縮小した。
- ◆ 1~9月期の金融収支（外貨準備除く）は1,121億米ドルの黒字であった。資本規制が功を奏した結果、14年以降赤字が続いていたその他投資が701億米ドルの黒字に転じた。

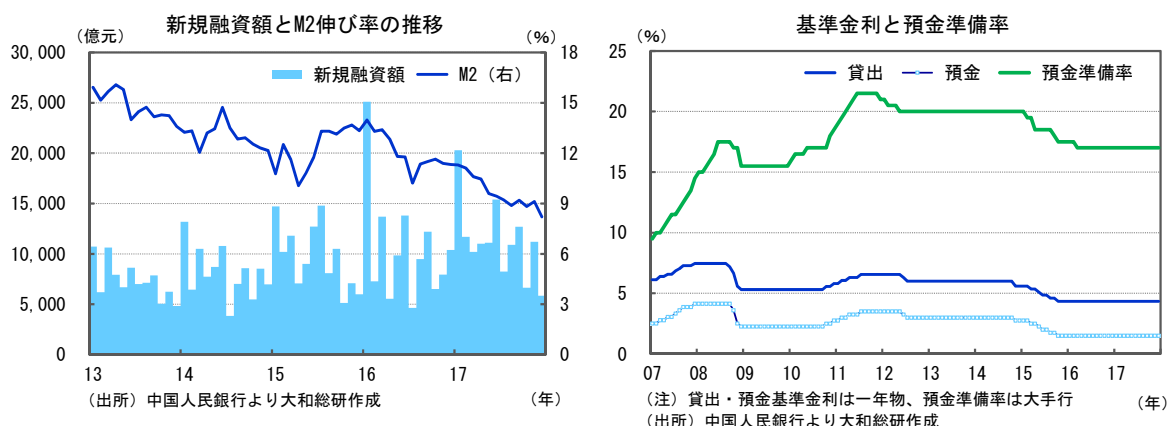
### 経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



## 金融

- ◆ 2017年12月末のM2伸び率は前年同月比8.2%、11月末の同9.1%から伸び率が下向いた。
- ◆ 17年の社会資金調達金額（社会融資総量）は前年比9.2%増と、16年の同15.6%増から伸び率が低下した。17年末の社会資金調達金額残高は174兆6,370億元で、同12.0%増と、16年の同12.8%増から伸び率が低下した。

### M2と金利



### 社会資金調達金額（社会融資総量）の増加額と残高

社会融資総量の増加額（億元）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	59,664	36,324	3,864	3,371	1,703	6,702	2,285	4,333
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年	194,430	138,432	18	7,770	22,555	5,364	4,495	8,734
前年同期比(%)	9.2	11.3	純減⇒純増	-64.4	162.5	純減⇒純増	-85.0	-29.7

社会融資総量の残高（億元）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	321,326	251,580	11,411	14,407	3,732	11,562	8,034	13,564
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,644	1,051,860	26,301	131,950	62,758	39,022	179,199	57,722
2017年末	1,746,370	1,190,293	24,780	139,720	85,314	44,386	183,748	66,456
前年同期比(%)	12.0	13.2	-5.8	5.9	35.9	13.7	2.5	15.1

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額（または減少額）  
 内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用  
 (出所) 中国人民銀行より大和総研作成

## 株価と為替

- ◆ 2017年12月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間0.3%下落、0.2%上昇だった。17年の年間騰落率は、上海は6.6%上昇、深圳は8.5%上昇となった。
- ◆ 12月末の人民元の対米ドルレートは6.5342元/ドルと月間1.1%の元高となった。1月23日時点の対米ドルレートは6.4009元/ドルと12月末比で2.0%元高であった。16年の年間では、対米ドルで5.8%の元高となった。
- ◆ BISの12月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比0.2%の元高、前年同月比1.0%の元安であった。

### 株価指数の推移



### 人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

